

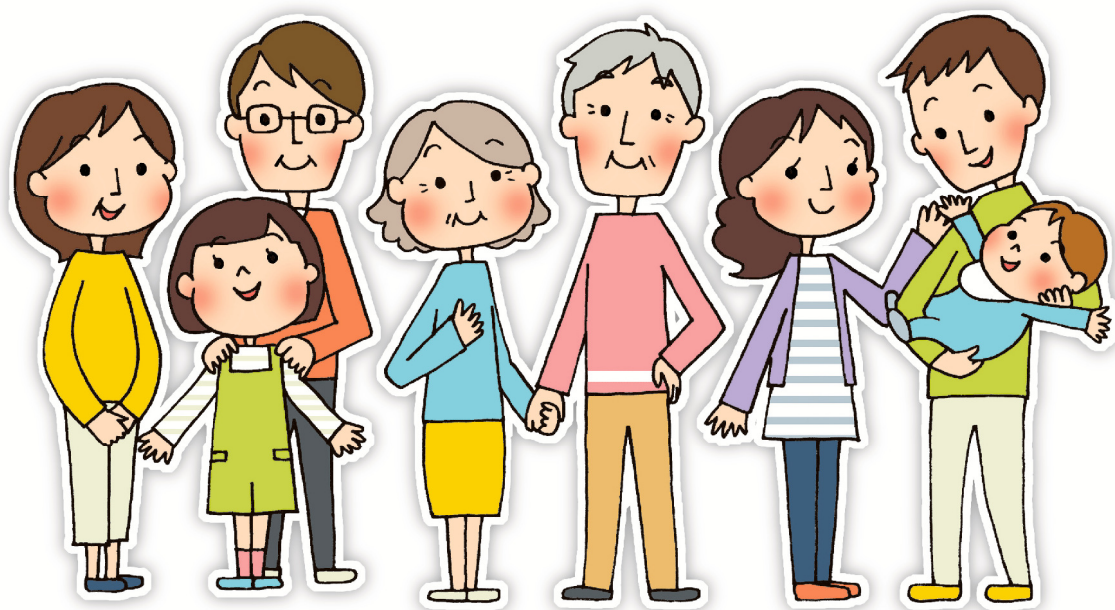
佐賀市

概要版

高齢者保健福祉計画

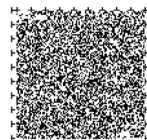
令和3年度～令和5年度

住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち



佐賀県
佐賀市

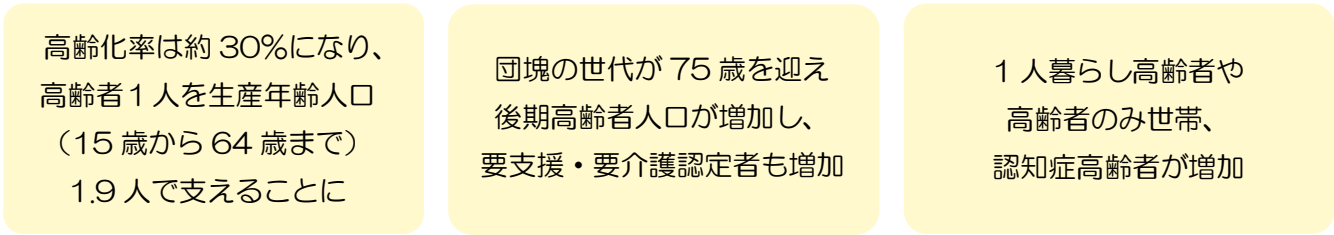
令和3年3月



I 計画策定にあたって

(1) 計画策定の趣旨

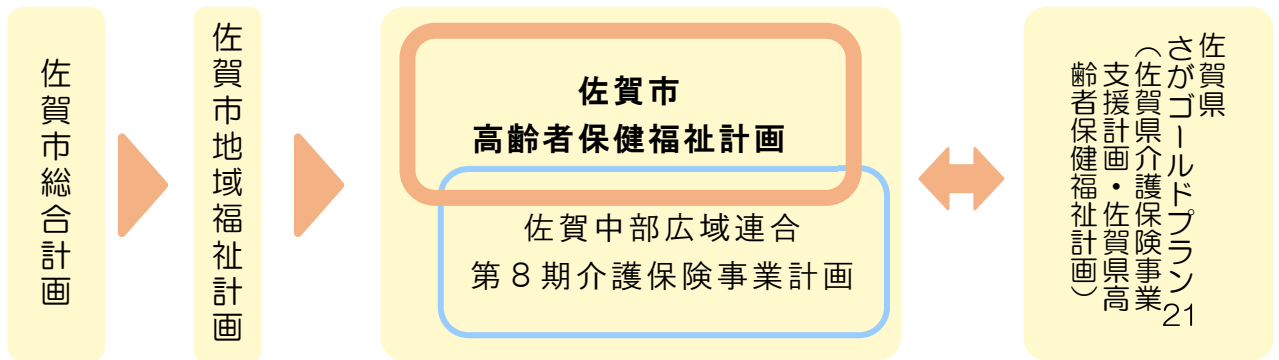
令和7年（2025年）の佐賀市の高齢者を取り巻く状況



佐賀市で取り組む「健康」「予防」「介護」「生活支援」などの高齢者施策全般に関わる事業について、市民や関係機関などと連携しながら更なる充実・改善を図っていくために、地域包括ケアシステムの深化・推進を掲げ、新たな「佐賀市高齢者保健福祉計画」を策定します。

(2) 計画の位置づけ

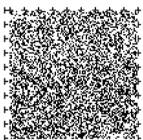
この計画は、佐賀中部広域連合が定める「第8期介護保険事業計画」と一体的な計画として取り扱います。また、佐賀市総合計画や佐賀市地域福祉計画など関連する計画と整合・連携を図ります。



(3) 計画の期間

第8期介護保険事業計画に合わせて、始期を令和3（2021）年度として、目標を令和5（2023）年度とした3か年計画とします。

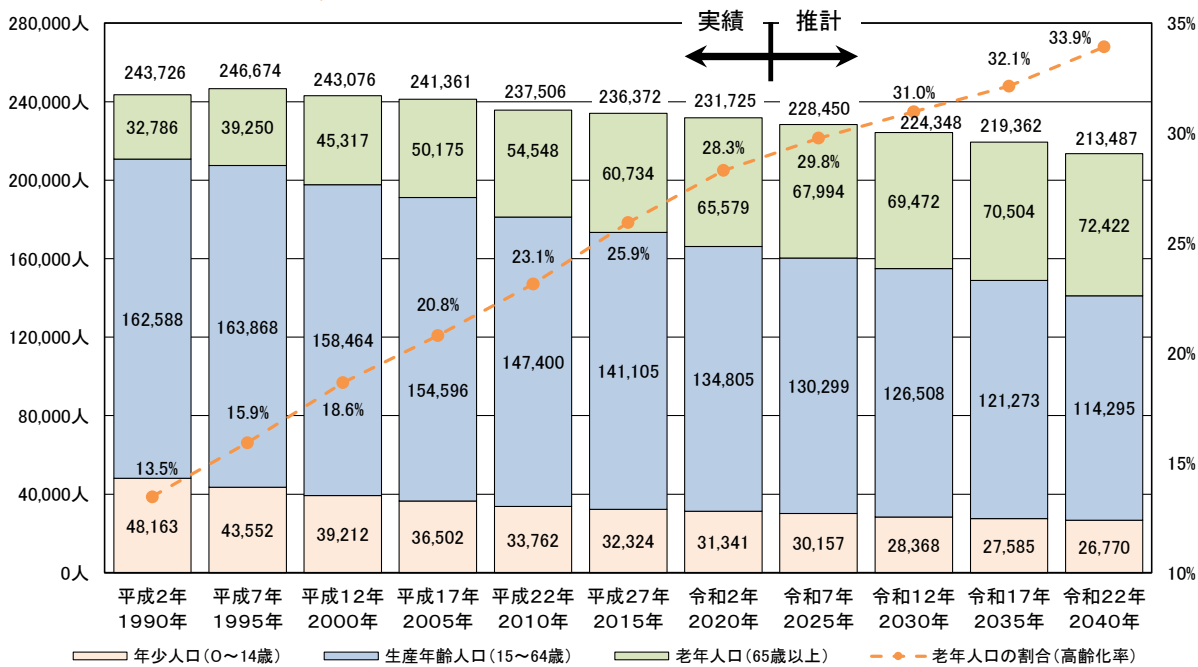
H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	
H30～R2年度の計画			今回策定した計画					2025年を見据え策定	



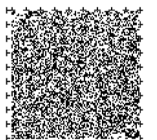
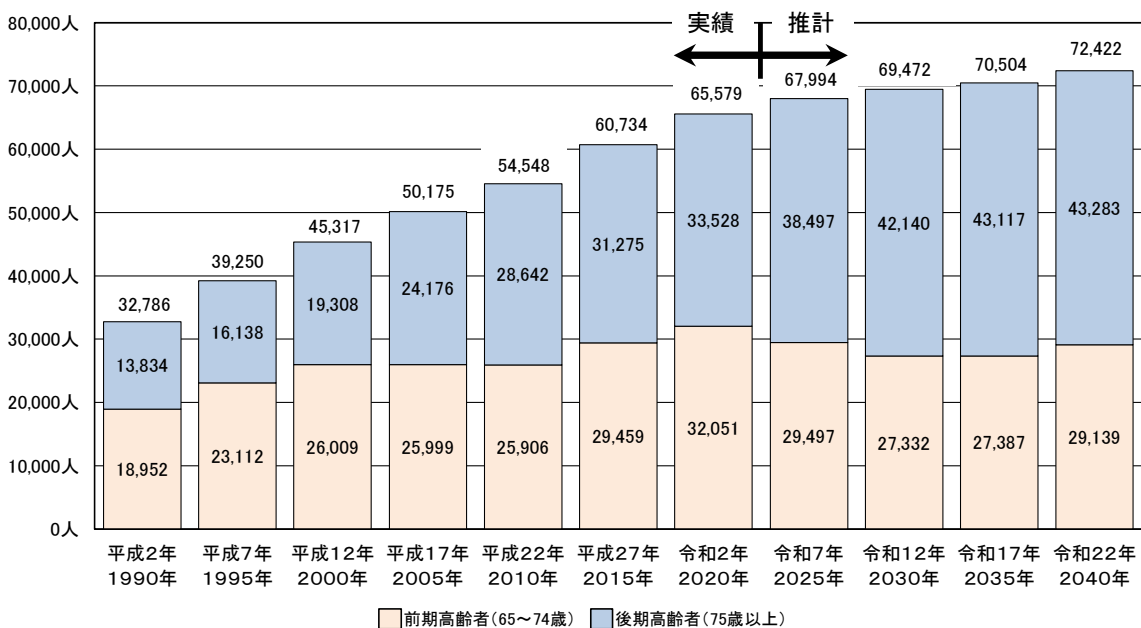


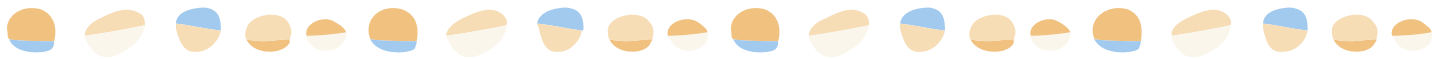
(1) 人口・高齢化率の推移と将来推計

- 高齢化率（総人口に占める高齢者人口の割合）は、平成2年に13.5%であったものが、令和2年には28.3%になり、令和7年には約30%になる見込みです。
- 平成2年には生産年齢人口（15歳から64歳まで）5人で1人の高齢者を支えていましたが、令和7年には生産年齢人口1.9人で1人の高齢者を支えることになる見込みです。



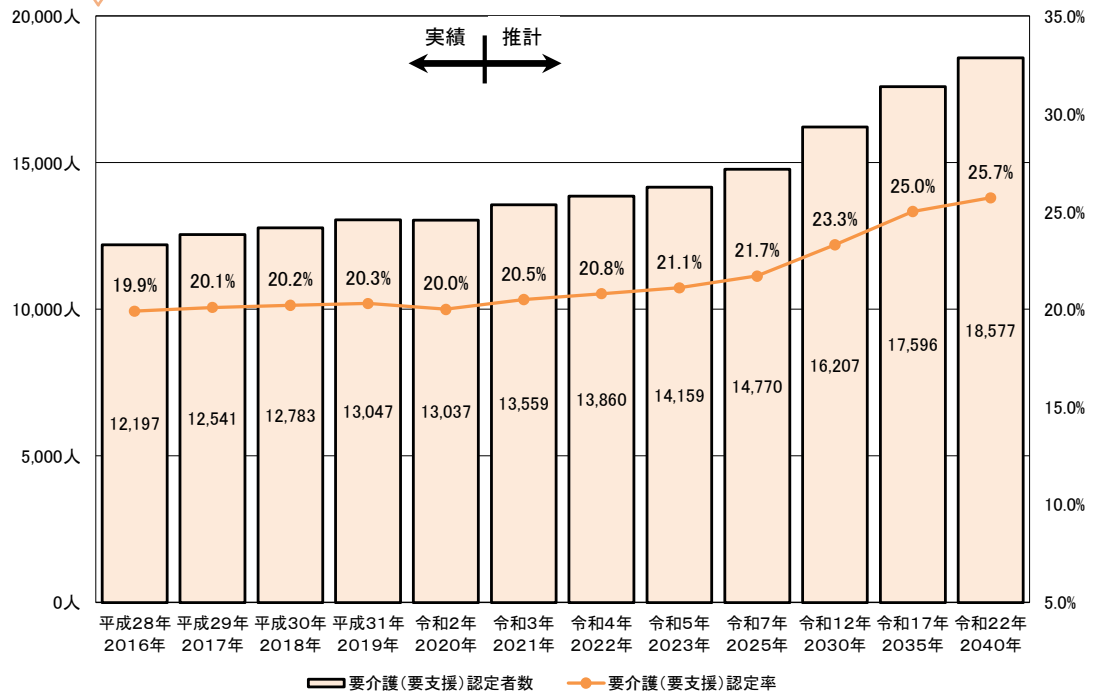
- 高齢者人口の年齢構成をみると、後期高齢者（75歳以上）の人口が、前期高齢者（65歳から74歳まで）の人口を上回っており、令和7年には、高齢者人口の約57%を後期高齢者が占める見込みです。



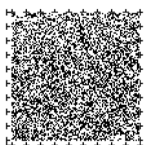
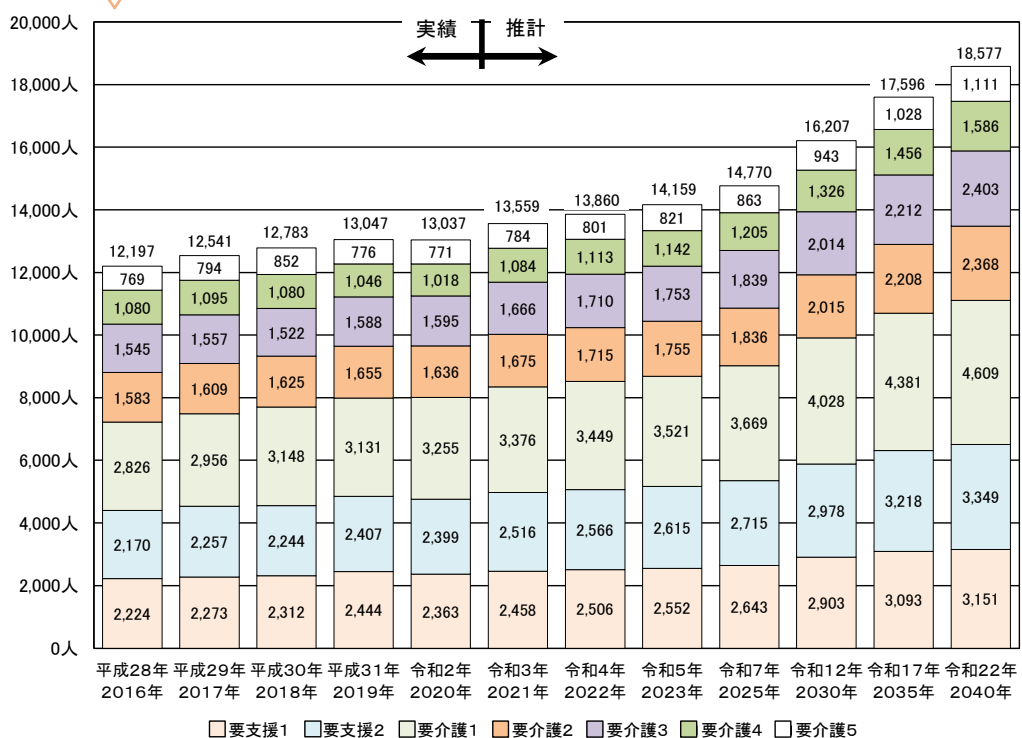


(2) 要支援・要介護認定者数の推移と将来推計

- 要支援・要介護認定率を見ると、平成28年から令和2年は20%前後で推移していますが、認定者数で見ると年々増加傾向にあり、平成31年に13,000人に達しています。令和7年には、認定率は21.7%、認定者数も14,770人と大きく増える見込みであり、その傾向は令和22年まで続いていきます。



- 要支援・要介護別の認定者数を見ると、要介護度の低い要支援者（要支援1・2）は、認定者全体の4割近くを推移する見込みであり、状態の改善や悪化防止に向けた取り組みが、いっそう必要となります。

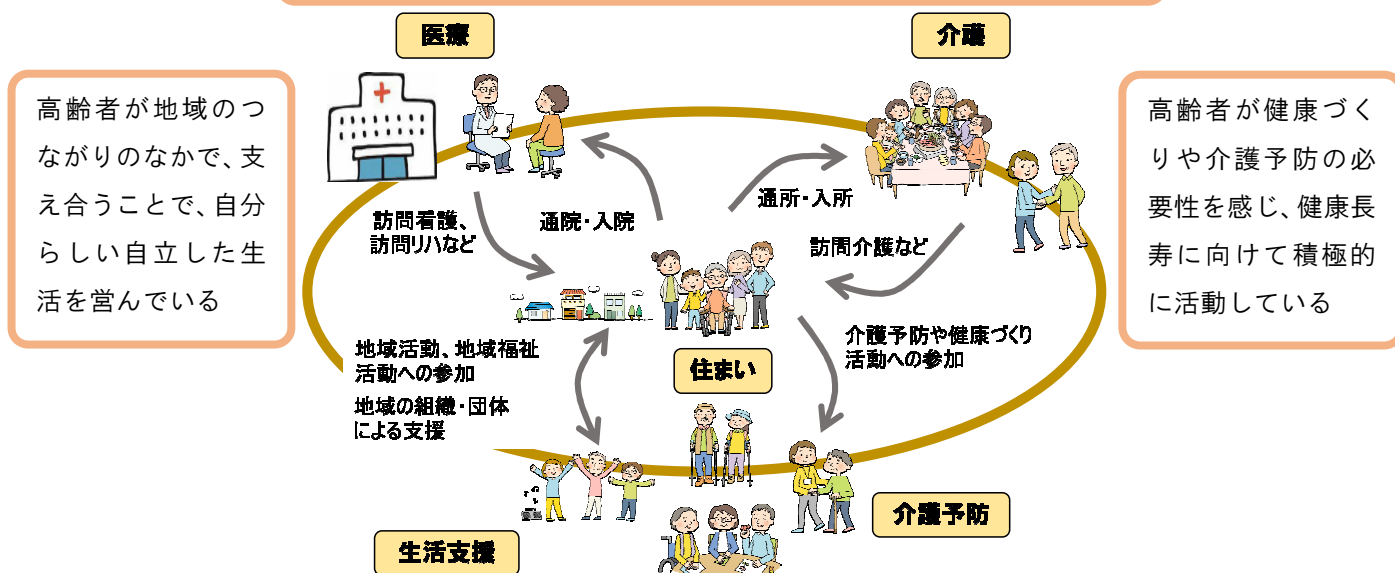


3 目指す姿と基本目標

2025年の目指す姿

住み慣れた地域で支え合い、 自分らしく自立した生活ができるまち

高齢者が住み慣れた地域や望む場所で安心して生活できるよう、医療や介護、保健、福祉における必要なサービスが包括的に提供されている



2025年の目指す姿の実現に向けて、4つの基本目標と4つの重点取り組みを設定します。

基本目標1 地域で支え合う仕組みづくり

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者の暮らしを支える「支え合い」の地域づくりを進めながら、自立した生活を営むための地域包括ケアシステムの深化・推進に努めます。

基本目標2 認知症施策と高齢者の権利擁護の推進

認知症の予防から早期発見、さらに認知症発症後の生活支援体制づくりまでを総合的に進めます。また、自身で意思決定が行えない状況にある高齢者の権利擁護に関する支援、高齢者虐待の防止や早期発見に向けた取り組みを行います。

基本目標3 健康づくりと介護予防の推進

高齢者が自らの健康維持・増進に心がけ、健康づくりや介護予防の取り組みに積極的に参加できる環境づくりを進めます。また、医療・健診・介護データなどを活用し、早期に必要な支援を行います。

基本目標4 自立と安心につながるサービスの充実

高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、就労や地域活動などへ参加する環境づくりを進めます。また、高齢者の在宅生活を支える、きめ細かな福祉サービスの充実を図ります。

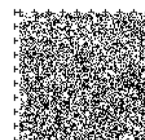
重点取り組み

重点1
地域を支える
ネットワークづくりの強化

重点2
認知症施策の推進

重点3
高齢者の権利擁護の推進

重点4
高齢者の保健事業と
介護予防の一体的な実施



重点1

地域を支えるネットワークづくりの強化

おたっしゃ本舗（地域包括支援センター）の機能強化（◎：拡充 ●：新規）

◎各おたっしゃ本舗の管理者会議やヒアリングなどを通して、機能評価状況や課題を把握し、佐賀中部広域連合と連携しながら、その解決を図ります。

◎おたっしゃ本舗の個別事例解決力の向上に向け各種研修などを行い、職員の資質向上を図るとともに、関係機関と連携しやすい体制づくりを進めます。

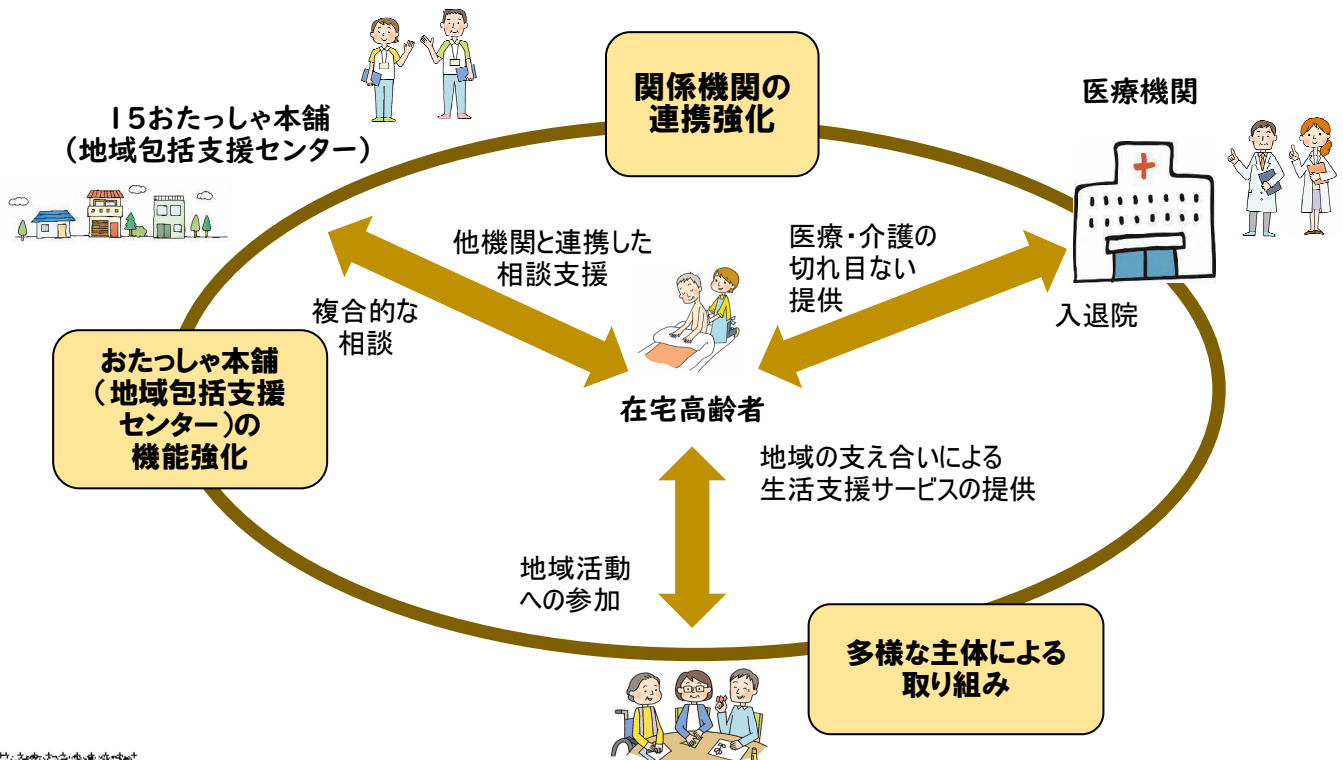
多様な主体による取り組みの支援・連携強化

◎市直営のおたっしゃ本舗が、民間法人が設置する14のおたっしゃ本舗の抱える複合的な相談内容への対応について、他機関との連携を進めます。

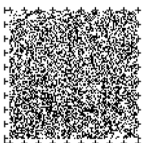
◎医療と介護の切れ目ない提供のために作成された入退院支援ルールの変更の周知・活用を図るなど、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を進めます。

●地域の担い手の発掘・支援や住民主体の取り組みへの支援を行いながら、地域の支え合いによる生活支援サービスの創出・整備を進めます。おたっしゃ本舗の「生活支援コーディネーター」と佐賀市社会福祉協議会の「コミュニティソーシャルワーカー」との連携を深め、地域資源・人材の発掘や調整をともに担っていきます。

項目	現状値（R1）	目標値（R5）
おたっしゃ本舗における相談件数	12,166件	13,650件
住民主体サービス事業取り組み団体	—	8団体



自治会、民生委員児童委員協議会、校区社会福祉協議会、ボランティアグループ、NPO法人など



重点2 認知症施策の推進

普及啓発・相談体制の整備

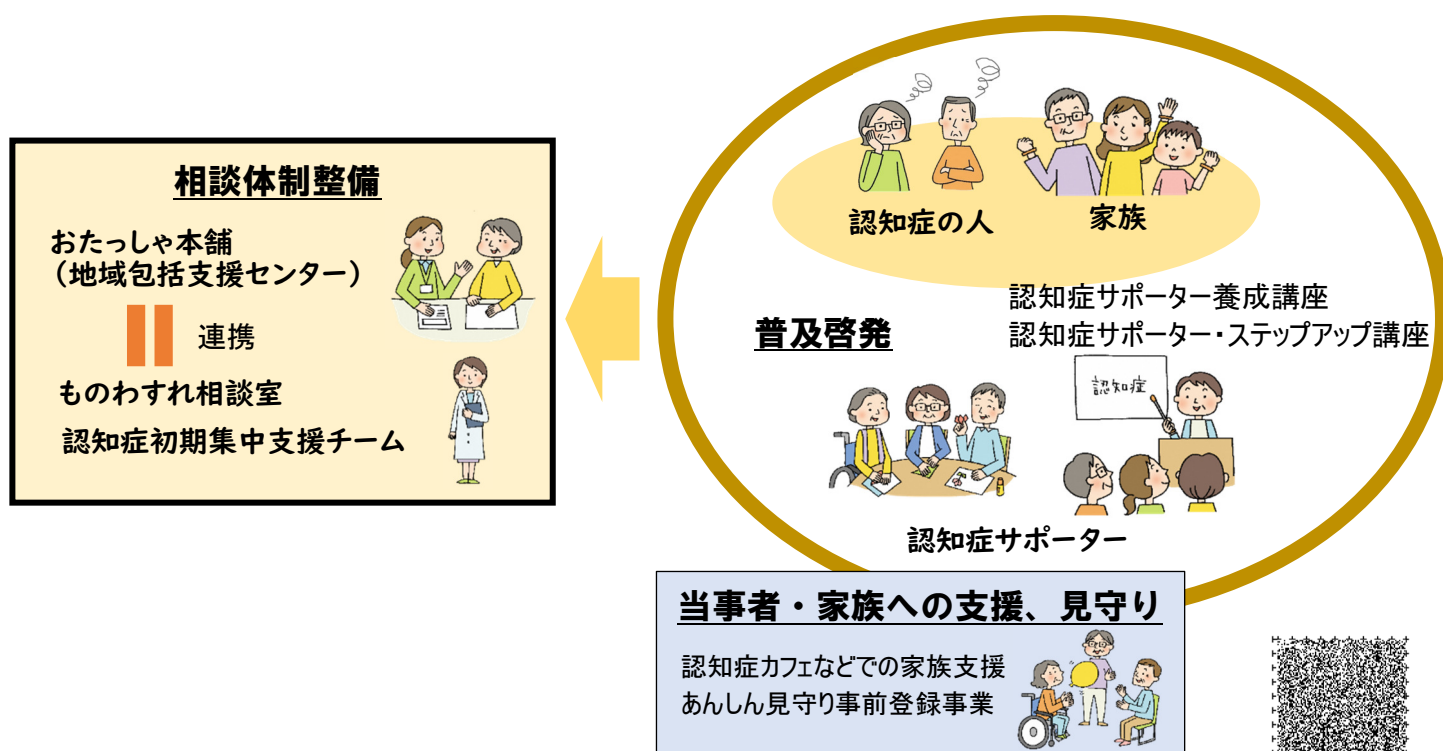
(◎：拡充 ●：新規)

- ◎「認知症サポーター養成講座」を身近な地域で開催し、普及啓発を図ります。さらに、修了者へ「認知症サポーター・ステップアップ講座」を開催し、地域での活動につなげます。
- ◎ものわすれ相談室にて、認知症やもの忘れに関する相談を受け、早期に適切な治療・サービスに結びつけます。
- ◎認知症初期集中支援チームが、おたっしや本舗と連携しながら認知症の人やその家族に対し初期の支援を行い、必要な医療や介護に結びつけることで自立生活をサポートします。

当事者・家族への支援体制の整備

- 認知症サポーターなどの活動を促進するために「チームオレンジコーディネーター」を配置し、認知症の人やその家族のニーズに合った具体的な支援につなげる仕組みの構築を目指します。
- 認知症の人を介護する家族を対象に、認知症の人に対する具体的な接し方を学ぶ場を企画するなど、認知症カフェなどに参加しやすい働きかけを行います。
- ◎認知症カフェの開設や運営に関して、助言や関係機関との連携、広報などを行います。
- 行方不明になるおそれがある人の情報を、事前に市へ登録することにより、見守り体制を整え、捜索・発見時にスムーズに対応するための「あんしん見守り事前登録事業」を進めます。

項目	現状値 (R1)	目標値 (R5)
認知症サポーター数(累計)	32,094人	40,000人
認知症サポーター・ステップアップ講座受講者数(累計)	10人	100人
あんしん見守り事前登録事業 登録者数	—	150人



重点3 高齢者の権利擁護の推進

成年後見制度の利用促進

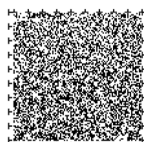
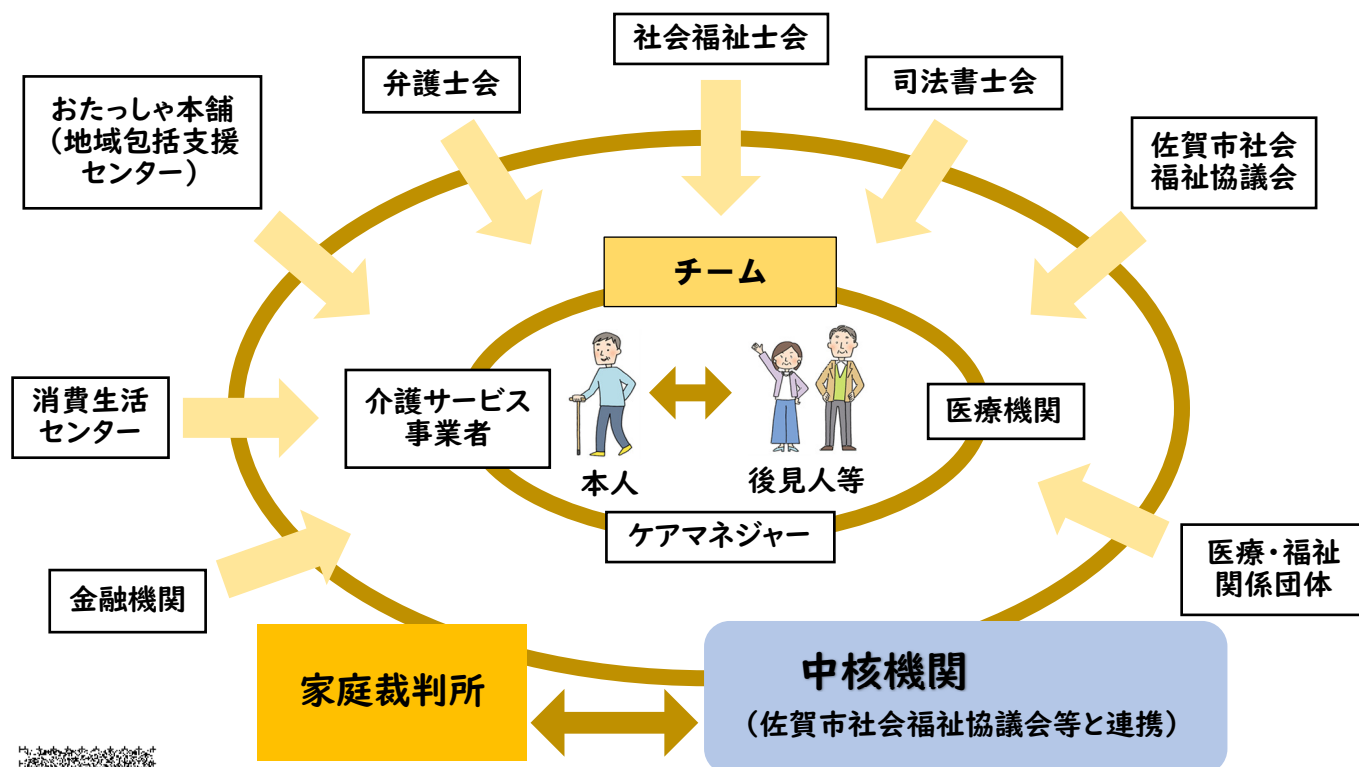
(◎：拡充 ●：新規)

- 成年後見制度(※)をはじめとする各種手続きについて、市民が利用しやすい環境を整えるため、佐賀市社会福祉協議会などと連携して、利用促進を図る相談支援窓口となる「中核機関」を整備します。
- 高齢者の権利擁護と財産保護のため、おたっしや本舗、消費生活センター、佐賀市社会福祉協議会、専門職団体などとの連携ネットワークを構築し、多面的に支援を行います。
- 成年後見制度の利用増加に伴い後見人が不足していることから、市民後見人の養成講座を行うとともに、講座修了者へは実践につながる継続的な学びの機会の提供などのフォローアップを行い、後見活動の質の向上を図ります。

◎市民が積極的に将来の自分について考えることができるよう、終活に活用する「佐賀市あんしんノート」を毎年作成するとともに、おたっしや本舗や佐賀市社会福祉協議会による地域での出前講座、講演会を実施し、普及啓発を図ります。

※成年後見制度：認知症、知的障がい、精神障がい、発達障がいなどによって物事を判断する能力が十分ではない人について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度。

項目	現状値（R1）	目標値（R5）
相談件数	342件	400件
市民後見人の登録者数	—	20人



重点4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

データを活用した取り組みの推進

(◎：拡充 ●：新規)

◎市独自に実施している「高齢者実態調査」にて、在宅の65歳以上高齢者を対象にフレイル(※)チェックを実施することにより、高齢者一人ひとりの健康課題を把握します。

●後期高齢者の関心が高いフレイルや認知機能のチェック、体力測定などを組み合わせた健診を企画するなど、フレイル予防や認知症に関する知識の普及を行います。

●健診結果やフレイルチェックなどのデータに、医療レセプトや介護レセプトを加えて総合的に分析を行い、健康課題を抱える高齢者や閉じこもりがちで健康状態の不明な高齢者などを把握します。健康状態に応じて、専門職によるアウトリーチ支援（健診受診や治療勧奨、通いの場への参加勧奨など）を行い、疾病の重症化予防及び介護予防を図ります。

通いの場における介護予防の推進

◎継続的な介護予防の取り組みを促すために、身近な地域での通いの場づくりを進めます。

◎通いの場などへ専門職が積極的に関与する機会を設け、運動・栄養・口腔ケアなどの指導を行い、フレイルやオーラルフレイル（口の機能が衰えること）の予防を進めます。

※フレイル：加齢に伴う心身の変化や周囲の環境によって虚弱になった状態

項目	現状値（R1）	目標値（R5）
訪問指導人数	—	200人
住民主体の通いの場の設置数	379箇所	453箇所
住民主体の通いの場の参加人数	9,783人	12,162人

(1) 市町村が一体的に実施

医療・介護データ解析

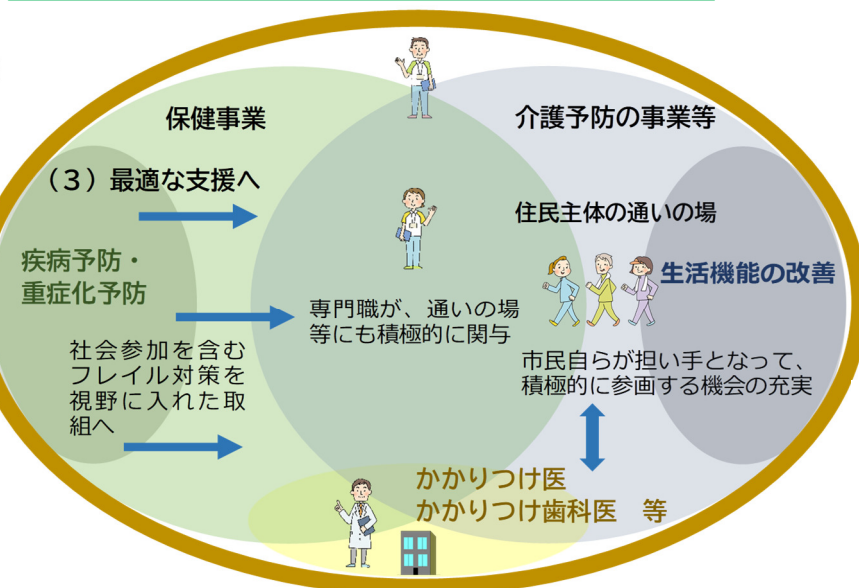
- ・高齢者一人ひとりの医療・介護等の情報を一括把握
- ・地域の健康課題を整理・分析



(2) 対象者を抽出

高齢者

※フレイルのおそれのある高齢者全体を支援

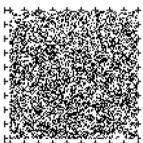


5 施策体系



4つの基本目標、12の施策、64の事業で構成します。

基本目標	施策	事業・取り組み内容
1 地域で支え合う 仕組みづくり	(1) おたっしゃ本舗運営の充実	おたっしゃ本舗の機能の充実【重点】 総合相談機能の充実【重点】 など
	(2) 在宅医療・介護連携の推進	関係多機関とのネットワーク構築 入退院支援ルールの周知・活用【重点】 市民への普及啓発
	(3) 生活支援体制の整備	生活支援コーディネーターの配置【重点】 コミュニティソーシャルワーカーの配置 住民主体サービスへの支援【重点】 など
2 認知症施策と高齢者の 権利擁護の推進	(1) 認知症施策の推進	認知症サポーターの養成と活動促進【重点】 認知症初期集中支援チームによる支援【重点】 あんしん見守り事前登録事業【重点】 など
	(2) 高齢者の権利擁護の推進	相談支援窓口となる中核機関の整備【重点】 関係機関とのネットワーク構築【重点】 市民後見人の養成【重点】 など
3 健康づくりと 介護予防の推進	(1) 健康づくりの推進	健康づくりに関する取り組みの推進 各種健（検）診の受診勧奨 など
	(2) 介護予防の充実	介護予防事業 住民主体の通いの場の支援【重点】
	(3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者実態調査【重点】 75歳到達者等へのフレイル予防大作戦【重点】 データを活用した介護予防や生活習慣病等の重症化予防【重点】
4 自立と安心につながる サービスの充実	(1) 社会参加の推進	高齢者バス優待乗車券への助成 高齢者の就労の促進 など
	(2) 在宅生活の継続支援	市独自の在宅支援サービス（安否確認・軽度生活援助・寝具洗濯乾燥消毒・緊急通報システムなど） あん摩、はり、きゅう等施術券交付事業 など
	(3) 生活環境の整備	老人ホーム措置事業 地域介護施設開設補助事業 地域介護・福祉空間整備事業 地域共生ステーション開設支援事業 など
	(4) 安心につながる取り組みの推進	高齢者見守りネットワーク事業 終活に向けた普及啓発【重点】 複合的な福祉課題の解決に向けた体制づくり（重層的支援体制整備事業） 災害・感染症対策に係る体制整備 など

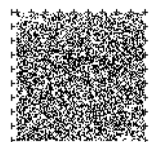


【参考】日常生活圏域別高齢者人口の推計

単位：人

	実績値	推計値			
	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
①佐賀地区（勸興・神野）	18,038	17,784	17,464	17,076	16,619
高齢者人口	4,809	4,981	5,085	5,160	5,302
高齢化率	26.7%	28.0%	29.1%	30.2%	31.9%
②城南地区（赤松・北川副）	20,870	20,576	20,206	19,757	19,228
高齢者人口	5,736	5,971	6,119	6,211	6,374
高齢化率	27.5%	29.0%	30.3%	31.4%	33.1%
③昭栄地区（日新・嘉瀬・新栄）	21,163	20,864	20,490	20,034	19,498
高齢者人口	6,568	6,817	6,968	7,072	7,263
高齢化率	31.0%	32.7%	34.0%	35.3%	37.2%
④城東地区（循誘・巨勢・兵庫）	30,099	29,665	29,134	28,487	27,722
高齢者人口	6,668	6,872	7,000	7,105	7,304
高齢化率	22.2%	23.2%	24.0%	24.9%	26.3%
⑤城西地区（西与賀・本庄）	17,749	17,499	17,184	16,803	16,353
高齢者人口	4,783	4,980	5,103	5,181	5,316
高齢化率	26.9%	28.5%	29.7%	30.8%	32.5%
⑥城北地区（高木瀬・若楠）	21,899	21,590	21,202	20,731	20,176
高齢者人口	6,363	6,616	6,773	6,875	7,058
高齢化率	29.1%	30.6%	31.9%	33.2%	35.0%
⑦金泉地区（金立・久保泉）	8,195	8,080	7,935	7,758	7,551
高齢者人口	2,936	3,063	3,143	3,191	3,273
高齢化率	35.8%	37.9%	39.6%	41.1%	43.3%
⑧鍋島地区（鍋島・開成）	22,305	21,990	21,595	21,115	20,550
高齢者人口	5,375	5,508	5,578	5,654	5,825
高齢化率	24.1%	25.0%	25.8%	26.8%	28.3%
⑨諸富・蓮池地区（諸富町・蓮池）	12,010	11,841	11,628	11,370	11,065
高齢者人口	4,088	4,262	4,373	4,440	4,554
高齢化率	34.0%	36.0%	37.6%	39.1%	41.2%
⑩大和地区（大和町）	23,229	22,901	22,490	21,990	21,401
高齢者人口	6,399	6,607	6,730	6,827	7,020
高齢化率	27.5%	28.9%	29.9%	31.0%	32.8%
⑪富士地区（富士町）	3,514	3,465	3,403	3,327	3,238
高齢者人口	1,524	1,591	1,633	1,658	1,701
高齢化率	43.4%	45.9%	48.0%	49.8%	52.5%
⑫三瀬地区（三瀬村）	1,239	1,222	1,200	1,173	1,142
高齢者人口	515	539	554	563	577
高齢化率	41.6%	44.1%	46.2%	48.0%	50.5%
⑬川副地区（川副町）	15,637	15,417	15,140	14,803	14,407
高齢者人口	5,425	5,652	5,794	5,882	6,036
高齢化率	34.7%	36.7%	38.3%	39.7%	41.9%
⑭東与賀地区（東与賀町）	8,057	7,944	7,801	7,628	7,423
高齢者人口	2,197	2,264	2,302	2,334	2,402
高齢化率	27.3%	28.5%	29.5%	30.6%	32.4%
⑮久保田地区（久保田町）	7,721	7,612	7,476	7,310	7,114
高齢者人口	2,193	2,271	2,317	2,351	2,417
高齢化率	28.4%	29.8%	31.0%	32.2%	34.0%

実績値は、令和2年9月末現在（佐賀市住民基本台帳）



佐賀市高齢者保健福祉計画

【概要版】

発行者：佐賀市 保健福祉部 高齢福祉課

〒840-8501 佐賀県佐賀市栄町1番1号

TEL：0952-40-7253 FAX：0952-40-7393

E-mail：korei@city.saga.lg.jp

